

# 菊川流域治水協議会の 取組状況について

令和3年3月29日  
菊川流域治水協議会

# 菊川流域治水プロジェクト取組状況

7月20日 菊川流域治水協議会設立

協議会設立



8月3日 担当者会議

8月26日 第1回幹事会開催

9月24日 第2回菊川流域治水協議会(書面開催)

11月17日 菊川市合同現地調査

11月19日 掛川市合同現地調査



ため池の活用や  
水田貯留について  
議論

2月15日 掛川市水田貯留説明会

3月3日 第2回幹事会開催

農業従事者に  
対して説明



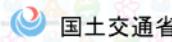
3月29日 第3回菊川流域治水協議会

流域治水  
プロジェクト  
の策定

# 菊川流域治水プロジェクト【協議会の設立】

## 令和2年度 第1回菊川流域治水協議会 開催概要

～菊川の水災害に備えて、流域治水を推進～



### 【開催目的】

近年、令和元年東日本台風や令和2年7月豪雨をはじめとした激甚な水害が発生するなど、気候変動により、水害が激甚化・頻発化している。このため、菊川流域において、あらゆる関係者が協働して「流域治水」(流域全体で水害を軽減させる治水対策)を計画的に推進するための協議・情報共有を行う。

### 【開催概要】

日時: 令和2年7月20日(月) 16:00～16:45  
会場: 菊川市営保養センター 小菊荘2階研修室  
出席: 下記協議会委員参照  
議事: (1) 菊川流域治水協議会規約(案)について  
(2) 今後の進め方について  
(3) リーディング地区の選出について

### 協議会開催状況



### 【議事概要】

1. 菊川流域治水協議会規約(案)について  
事務局より規約(案)について説明し、承諾された。(7/20施行)
2. 今後の進め方について  
事務局より本協議会の今後の進め方について説明し、了承された。  
あらゆる関係者により行う「流域治水」という趣旨に則り、市民等の意見を踏まえてプロジェクトが策定できるように検討すべきとの意見があった。
3. リーディング地区の選出について  
事務局よりリーディング地区の選出(案)について説明し、了承された。

### 発言の様子



掛川市長



菊川市長



静岡県  
袋井土木事務所長



国土交通省 中部地方整備局  
浜松河川国道事務所長



国土交通省 中部地方整備局 河川部  
河川計画課長

# 菊川流域治水プロジェクト【関係者との合同現地調査実施】

11月17日（菊川市）、19日（掛川市）で、黒沢川流域を含む流域治水プロジェクト登録地域を合同で現地調査を行い、ため池活用や水田貯留について意見交換を行いました。

## 【開催概要】

日 時: 令和2年11月17日(火)  
現地調査場所: 牛淵川上流域・黒沢川流域・江川流域  
参 加: 浜松河川国道事務所(国交省)  
西関東土地改良調査管理事務所(農水省)  
袋井土木事務所(静岡県)  
中遠農林事務所(静岡県)  
菊川市役所

## 【意見交換】

- ・水田貯留について、稲は、農水省の基準で30cm、24時間以内であれば湛水許容できる。
- ・未使用のため池については、農業サイドとしても整理していく必要があると考えており、防災ダムとして残すなど、防災に活用していく方針が良いと思う。

## 【開催概要】

日 時: 令和2年11月19日(木)  
現地調査場所: 下土方地区、与惣川流域、国安地区  
参 加: 浜松河川国道事務所(国交省)  
袋井土木事務所(静岡県)  
掛川市役所

## 【意見交換】

- ・水田貯留について、台風時などは雨が降る前に調整版を設置するようになれば危険が伴う作業となるので留意する必要がある。
- ・下土方地区では、現状、水田貯留としての効果が出ており、亀惣川への流出抑制効果が出ているような状況である。
- ・国安地区の浸水を軽減させる対策としては、菊川流域の上流側での流域対策により、本川水位を下げるのが有効と考える。



谷田大池でため池活用について意見交換



黒沢川支川下平川を現地調査



渡辺池でため池活用について意見交換



与惣川を現地調査

# 菊川流域治水プロジェクト【水田貯留説明会】

2月15日に、与惣川流域の農業従事者の方を踏まえた水田貯留説明会を実施しました。流域治水の取組や他流域の取組事例を説明するとともに、与惣川流域で実証実験を進めるうえでの具体的な時期や留意事項等について協議を行いました。

## 【開催概要】

日 時: 令和3年2月15日(月)  
 現地調査場所: 掛川市役所 大東支所  
 参加: 浜松河川国道事務所(国交省)  
 掛川市役所  
 農業従事者

## 【意見交換】

- ・洪水期の6月～11月まで設置していただくと効果が期待できる。
- ・与惣川の湾曲部左岸側(大坂小学校南側・真川合流点上流)は、現在、太陽光パネルとして利用されている。
- ・水路に泥も堆積してしまうことから、水の出し入れの管理は大変である。通常の水量調整などの管理方法も含めて提案していただくと助かる。
- ・令和3年度から水位計等を設置して大雨時の現状を把握したい。その後、実際に試験的に堰板を設置し、効果検証をさせていただきたい。



水田貯留についての説明会の様子

農地・農業水利施設を活用した流域の防災・減災の推進(「流域治水」の取組) 資料-3

○ 都市・市街地の近傍や上流には、水田が広がり、多くの農業用ダム・ため池・排水施設等が位置している。これらの農地・農業水利施設の多面的機能を活かして、あらゆる関係者協働の取組である「流域治水」を推進する。

### 水田の活用(田んぼダム)

○ 農田用水(田んぼ)への灌漑の設備等による流出抑制により、下流域の洪水被害リスクを軽減。

【施設の概要等】  
 ○水田整備、田んぼダムの機能活用

### 農業用ダムの活用

○ 大雨が予想される前に事前検定等による水位の監視等を行うことにより、洪水被害を軽減。

○ 貯留ダムに貯留し、下流域の洪水被害リスクを軽減。

【施設の概要等】  
 ○灌漑設備、堤防利用、河川管理事務所への移転・設置等

### 排水施設の活用

○ 豪雨時のための排水設備(排水機場・排水ポンプ)は、河川に洪水の逆流を防止・軽減。

【施設の概要等】  
 ○排水機場の整備、ポンプ施設、河川沿いの排水設備等

### ため池の活用

○ 大雨が予想される前に事前検定等を行うことにより、洪水被害を軽減。

○ 緊急時水の貯留・利用、河川の水位低下、排水ポンプ(排水機場)を稼働して洪水を軽減し、洪水被害を軽減。

【施設の概要等】  
 ○堤防整備、洪水貯留、河川管理事務所への移転・設置等

流域治水の取組についての説明資料